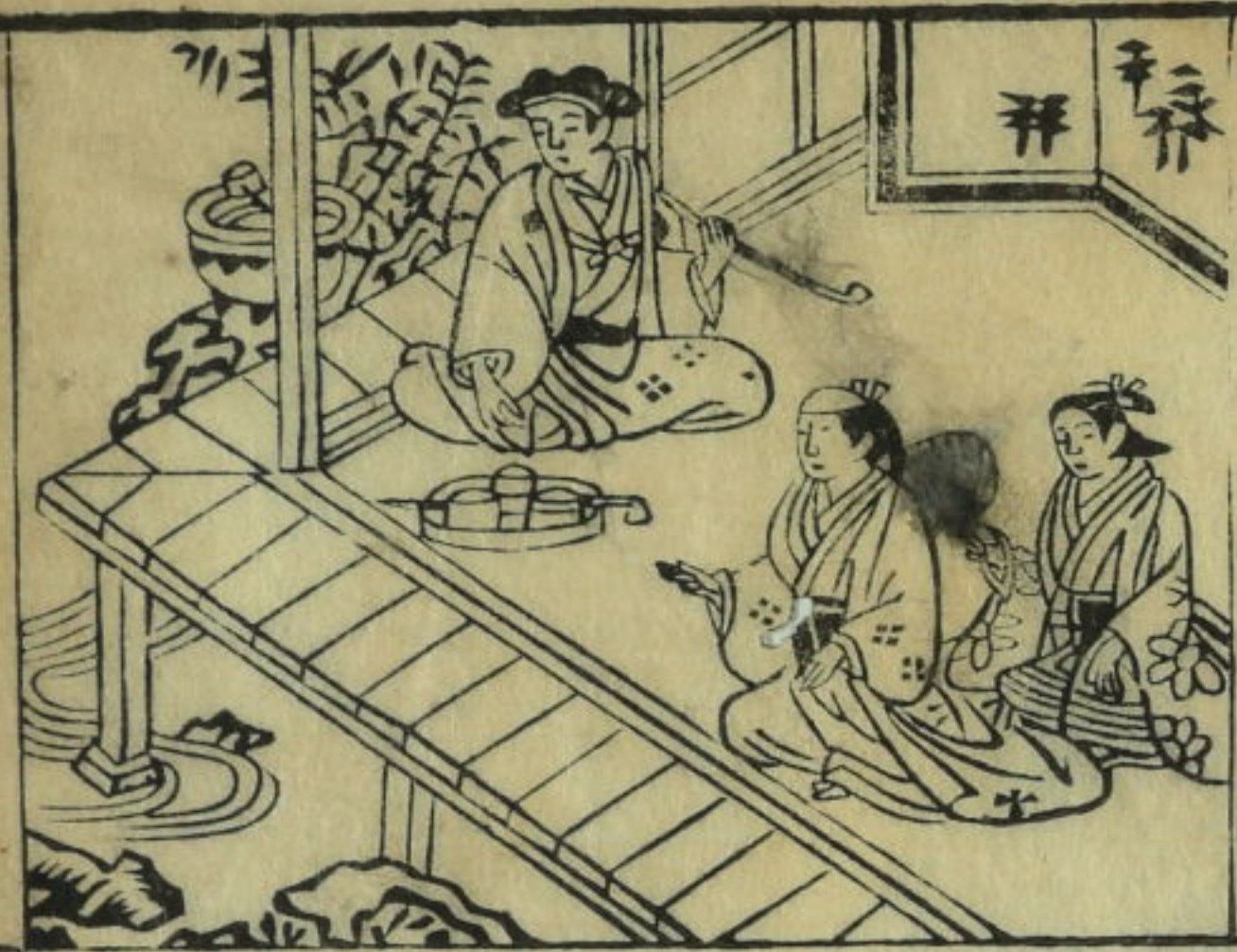




新編
女房小記
下





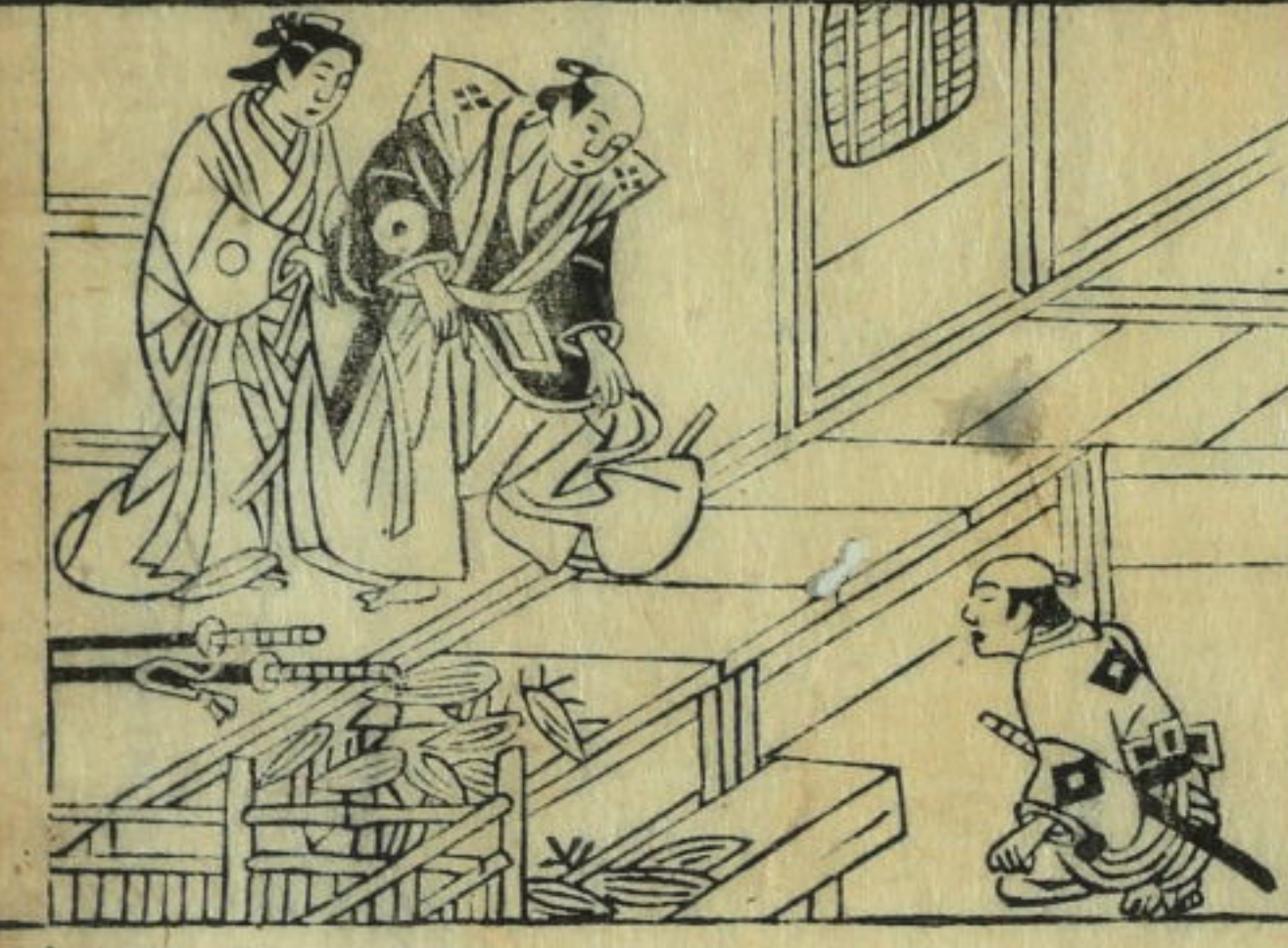
子も 寝我身の上
 ありしにわらわは此ら
 事あるすりとのそん
 うへのそあつるあす
 うへのそあつるあす
 とかんく乃うんぞじ
 人さうぞのあひま
 ぞれうさるうらうす

支奴あつのふらんち
 小使こしられあつたまちせ
 天あま此こくま路ちひ
 昔むかしふむかしのむかし地ち

417A

カ

子光のいけり世を
 とくめゆふおぼと
 おりあつたのあひま
 あさみちをゆくせ
 子とておぼえたり
 それとおぼえたり
 とくめゆふおぼと
 おりあつたのあひま
 あさみちをゆくせ
 子とておぼえたり
 それとおぼえたり



ちよのこぶさそふを
 おぼえつこのおぼえ
 おりあつたのあひま
 あさみちをゆくせ
 子とておぼえたり
 それとおぼえたり
 とくめゆふおぼと
 おりあつたのあひま
 あさみちをゆくせ
 子とておぼえたり
 それとおぼえたり

此乃是うれと初はつめ

くらふさくさく

直なる友小まこと

変心ひり初まこと

櫻りり見徳はな

友にをふるとも

次ありき方つぎ

為小治ひ人なせ

身が... 世に乃人乃...
 うきうき人の...
 人の...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...

女今所下

て何ひ知るといふ

書あまの誠心

るそらの衆と乱

女をかくる

氣流そら

六の心とらん

夕なれ

海りてあ

〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま

〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま



〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま
 〇あけはらひのうらやま
 〇ひるはせのうらやま

〇ゆらのあつらふらふ
 たらん乃きりあつらふ
 へ〇そつらふんひきま
 わり入りはあつらふら
 せらへ〇せらふらと
 あつらふら〇あつらふ
 へり〇あつらふのあつら
 へらあつらふのあつら
 〇〇〇のあつらふら
 〇あつらふらあつらふはよ
 りあつらふとあつらふら
 のあつらふらあつらふら
 〇〇〇のあつらふら
 〇あつらふらあつらふら
 のあつらふらあつらふら

〇ゆらのあつらふらふ
 たらん乃きりあつらふ
 へ〇そつらふんひきま
 わり入りはあつらふら
 せらへ〇せらふらと
 あつらふら〇あつらふ
 へり〇あつらふのあつら
 へらあつらふのあつら
 〇〇〇のあつらふら
 〇あつらふらあつらふはよ
 りあつらふとあつらふら
 のあつらふらあつらふら
 〇〇〇のあつらふら
 〇あつらふらあつらふら
 のあつらふらあつらふら

なるゆへもあつらふ

口惜^{くわく}ひき^{ひき}し^しら^ら極^{ごく}

か^かく^く他^た乃^の家^か又^{また}切^き

夫^{おつと}不^{あつら}随^{あつら}ひ^{あつら}男^{あつら}姑^{あつら}

小^こ使^しら^ら身^みを^をま^ませ^せと

父^{ちち}母^{はは}此^{こゝ}許^{ゆる}ふ^ふあ^あま^まの^のら^らん

皆^{みな}乃^のら^らあ^あま^まの^のあ^あら^ら

と^とあ^あま^まの^のあ^あら^ら

女^メ今^イ下^カ

七

中もひびくあとのとてき
 ○たうふのあつりこつた
 太らん乃あつりまろり
 ○あんのあつりこつた
 を太んのあつりまろり
 ○こつたあつりこつた
 菜乃すゆりまろり
 ○さんせう乃まろり
 あつりまろり



まろり
 白粉と磨り髪粉と
まろり

まろり
 粉乃とあつりこつた
まろり

まろり
 ゆみと揉んとす
まろり

まろり
 人稀こつた
まろり

万ののれき

○たうふのあつりこつた
 太らん乃あつりまろり
 ○あんのあつりこつた
 を太んのあつりまろり
 ○こつたあつりこつた
 菜乃すゆりまろり
 ○さんせう乃まろり
 あつりまろり

まろり
 食るのちすくひ食
まろり

まろり
 可へあつりこつた
まろり

まろり
 粉乃とあつりこつた
まろり

まろり
 也云た智あつりこつた
まろり

〇とてあはれなるかゝるもの
 粉とくちかふかゝる今若
 〇びのあはれ入らうかは
 とのさだやちりりて
 さんせうりこせうせう
 ちかみうらしてせけんを
 のせと知るはげうか
 〇身てあはれかゝる
 その中へてう〇世
 ちかみうらしてせけんを
 のせと知るはげうか
 〇身てあはれかゝる
 その中へてう〇世
 ちかみうらしてせけんを
 のせと知るはげうか

廿九下

疎まのまぬへ〜
こし

我言悪どかんと魚
わが げん あく

ろくまのらよ〜
ろくま

あふららららららら
あふららららららら

のりけり〜
 〇
 まてた〜
 〇
 ちかみうらしてせけんを
 のせと知るはげうか
 〇身てあはれかゝる
 その中へてう〇世
 ちかみうらしてせけんを
 のせと知るはげうか

へ〜せ〜く〜
へん

ち〜く〜我公〜
ちく

ち〜く〜人〜
ちく

法〜子〜日〜月〜
ほうし

